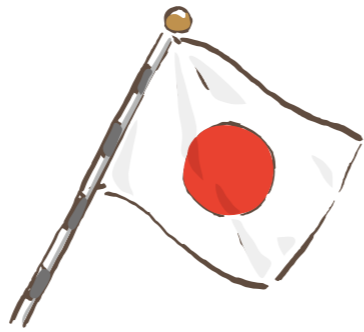


多摩のくらし～歳時記 ～国旗～

国旗（日章旗）は天皇家の歴史と同じくらい古いものだと思われている人が案外多いようですが、実はあの「日の丸」は江戸幕末になって誕生したのだそうです。それも、考案したのは薩摩藩（鹿児島県）の島津斉彬で、異国船の来航が頻繁になったことに対応して、日本船の目印として古来より愛用されていた「日の丸」を幟用にデザイン化したのが始まりとされているのだそうです。この「日の丸」の幟が基本となって“国旗”として制定されたのが、1870（明治3）年と言われています。以来、官庁をはじめとして各家庭にも用意されるようになったのだそうです。

その後、太平洋戦争の敗戦により連合軍から掲揚を禁止されましたが、1949（昭和24）年に解禁され

ました。国旗は、国の祝日、学校や企業、公的な行事に掲げるもので、私事には使いません。旗竿の先に金色の玉（竿球、または冠頭という。）を刺し、国旗が必ず竿の最上部に接するようにし、なるべく高く掲げます。そして、雨天のときは屋外に出しません。これは、濡らしたり、旗を地面に着けたりしてはいけないとされているからです。掲揚する時間帯は日の出から日没までとされています。（川口キン）



たまの顔のらぼう菜



のらぼう菜

「のらぼう菜」は江戸時代中期に、元々田んぼの裏作として灯明に使う油を摂るために栽培されていたものでした。しかし飢饉にも強い食料として、幕府が天領であった地の代官に栽培奨励の「おふれ」を出したそうです。

川崎の「のらぼう菜」は、早生系で糖度が高い特徴があります。2015（平成27）年5月から明治大学と市・県が「のらぼう菜」のブランド化に向けた品質基準と共同研究の成果を生産者に還元する栽培マニュアルの作成などを、共同研究しています。茹でると鮮やかな緑色になる「のらぼう菜」は、菜花のような苦味や味に癖がなく、油との相性も良いので、「卵とじ」「胡麻和え」「マヨネーズ和え」「天ぷら」などにして、この季節ならではの食材を楽しみましょう。食し方は是非工夫してみてください。（川崎市農業振興センター米川係長さんから）[文：古川]



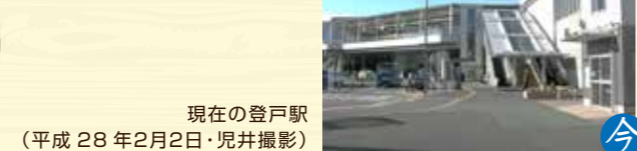
昔ののらぼう菜畑（2月頃）

たま今昔 区制が敷かれてから40年以上を経た多摩区の昔の姿を探ります

その15 登戸駅



1962（昭和37）年の登戸駅
アルファベーターブックス「南武線・鶴見線 街と駅の1世紀」より萩原二郎氏撮影



現在の登戸駅（平成28年2月2日・児井撮影）

登戸駅は南武線、小田急線とも1927（昭和2）年に開業しています。戦後になって郊外の住宅地の開発がどんどん進むと、両線とも利用客が大幅に増え、ホームや屋根の延伸、階段や乗換通路の増設などを繰り返すようになりました。今のような橋上駅舎となったのは2006（平成18）年です。かつては駅前広場から吹きさらしホームの小田急電車を見ることができました。[文：児井]

毎年3月に発行する広報紙には「まちカツ!」を大きく取り上げさせていただいておりますが、地域を良くしたいと願い、活動されている市民団体同士の交流の場としても、まちカツは非常に重要なイベントと考えており、是非じっくりと記事をお読みいただければと思います。（編集長・鈴木）

編集後記

多摩区まちづくり協議会へのご意見、ご質問、プロジェクトへの参加申し込みはこちらへお願いします。

【事務局】〒214-8570
多摩区役所地域振興課まちづくり推進係
電話 935-3148 FAX 935-3391
メール 71tisin@city.kawasaki.jp



■まち協のホームページ <http://tamaku-machikyo.com/>



多摩区まちづくり協議会は、区民の自主的なまちづくり活動組織です。区民が取り組む地域活動を、年4回発行でお知らせしています。

私たちのまちづくり

多摩区まちづくり協議会 NEWS

2016年
（平成28年）3月

51号

1 アグリパーク ハナモモ
2 菅馬場公園 みずき通り
3 生田小学校 コブシ
4 登戸・丸山教本庁 フジ
5 よみうりランド サクラ
6 緑化センター ツツジ
7 御杓文字橋 センダン
8 妙楽寺 アジサイ
9 広福寺 コブシ
10 生田緑地・菖蒲園 ハナショウブ
11 ばら苑アクセスロード バラ
12 生田緑地ばら苑 バラ

多摩の風景

多摩区の春、花々を求めて

【記事：藤田 写真：インターネット川崎ガイド】

多摩区の豊かな自然は、春を迎えて花々満開となります。区民の皆さまの愛情で諸所方々で咲く見事な桜の群は昨年ご紹介しましたが、今年は、その他の花々をご紹介しましょう。

まずは、小田急線向ヶ丘遊園駅から5月にはばら苑アクセスロードを経由して山上のばら苑へ。生田緑地に向かうと3月はハクモクレン、5月はタイサンボク、6月には菖蒲園が紫色の花で埋まります。近くの広福寺は3月のコブシも見事です。

北の稲田堤駅から向かう菅北浦の高台では、3月はコブ

シ通り、5月はみずき通り、その先のアグリパークには4月のハナモモが。生田小学校（生田駅）では3月のコブシ、丸山教本庁（区役所近く）では5月のフジ、また御杓文字橋（読売ランド前駅）では5月のセンダンも訪れたいと思います（いずれも川崎市まちの樹50選）。

最後に緑化センター4月のツツジ、妙楽寺6月のアジサイをお忘れなく。

多摩区の春、戸外に出て大いに自然の美をエンジョイしましょう。

まちカツ!

多摩区のまちを元気にする **まちづくりカツドウ**を紹介します!

広げようみんなの力! 多摩のまちづくり

多摩区まちづくり協議会 活動発表会

平成 27 年度多摩区まちづくり協議会の活動発表会「まちカツ!」が、2月11日(木・祝)に多摩区総合庁舎 11 階で開かれました。会場には170人を超える参加者が集まり、笑いがあがり、拍手があがり、熱気溢れる3時間半でした。

また、2月9日(火)から15日(月)までのアトリウムポスター展示には27団体が参加しました。

多摩区まちづくり協議会の第4期後半活動報告 本多会長

[ミッション① まちの課題抽出とその解決]

ミッション①の実現に向けた主な担い手はプロジェクトです。3期から継続の「多摩エコスタイル」、一昨年立ち上がった「マグネット多摩」「たまむすび～あそび場支援プラットフォーム～」が課題解決にあたっています(3、4ページ参照)。

[ミッション② 中間支援的機能の充実]

ミッション②は、「まちカツ!」の一環であるポスター展やポスターセッション、学びの場を提供する「多摩★まち大学」、活動発表と交流の場を提供する「多摩★まち Cafe」、広報誌、さらには各プロジェクトでも市民活動団体の皆さまを応援する活動を取り入れ、中間支援的機能の拡充を図っています。主な活動を次に示します。



多摩★まち Cafe 専修

大学、明治大学、日本女子大学それぞれの研究室やサークルの学生さんのご協力で、多摩区ならではの「学び」を親子で体験しようを開きました。



他都市視察研修

墨田区本所防災館で風速30mの暴風雨や消火放水体験をし、堀切西町会では防災を通じた地域コミュニティづくりを学び、江戸川区では町会の幹部の人達が主体になって運営されているすくすくスクールを訪問しました。



多摩★まち大学

「知って得する! 地域包括ケアシステム先取り講座」を主テーマに、4回連続講座+振り返り茶話会を開きました。老若男女延べ250人超の出席があり、この講座を通して川崎市独自の地域包括ケアシステムの理解と地域での互助活動の意義の向上に寄与できました。



広報誌「私たちのまちづくり」

年4回発行いたしました。まち協の活動の他に多摩区の魅力や活動団体の紹介をしています。また身近に取っていただくために、郵便局や銀行の書架に置いていただいています。



第4期まちづくり協議会の活動を通じて

第4期は、委員42人、メンバー約20人という成員数でスタートしました。そして新たに「マグネット多摩」と「たまむすび」という2つのプロジェクトが誕生し、課題解決に弾みがつきました。しかも今年の「まちカツ!」は、これまでにない多数の参加者や団体を迎え、中間支援活動も軌道に乗ってきました。これも区民の皆さまや関係者のおかげであり、お礼を申し上げます。多摩まち大学の2回目の講師・藤原佳典さんが講座の中でおっしゃっていた、「感謝、寛容、感激の3Kをもってボランティア活動をすれば、2倍3倍の喜びになり、健康寿命を伸ばすことになります」というお言葉をボランティア活動されている皆さんにお贈りしたいと思います。



多摩エコスタイルの第4期後半活動報告



エコショッピング・ッキング講座 毎日の買物や調理をエコに!



商店街での買物でエコ活動参加!

多摩エコスタイルは、多摩区にエコなライフスタイルを広め、子どもたちにより良い環境を引き継ぐことを目標として活動しています。活動を始めて4年目の今年度は、区民祭などのイベントに出展して、エコライフや自然エネルギー利用などをアピールする活動や、エコショッピング・ッキング講座などを継続しましたが、一番注力したのは「商店街エコ」活動です。

昨年度行った、登戸東通り商店街と区役所通り登栄会商店街の「各商店で行っているエコなことの聞き取り調査」をきっかけとして商店街との連携が始まり、地域の皆さんにも参加してもらってエコ活動を推進する方法を考えてきて、今年度始めたのが「エコポイントカード」と「空地エコイベント」です。エコポイントカードは「レジ袋いらない」など、お客さんと一緒にエコ活動を推進するもので、両商店街の参加店で使えます。登戸東通りの「なまずんバザール」では古着回収リユース、登栄会のハロウィンイベントではリユース食器使用、まちゼミで「マイ傘袋作り講座」の初めての取り組みを行い、ごみ削減をアピールしました。さらにエコライフを進める方法を考えながら活動を続けていきます。皆さんもぜひ参加してください!

なまずんバザールでごみ分別ゲームとソーラー電車



発表: 安井委員



マグネット多摩の第4期後半活動報告

マグネット多摩では、市民活動団体の情報発信の中間支援として、インターネット上に市民活動団体の作成する各チラシを閲覧できるよう「チラシギャラリー」サイトを一昨年12月に開設・運営しています。区役所などにあふれるチラシをご家庭のパソコンやスマートフォンからいつでもどこからでもご覧いただけます。

本チラシギャラリーの利用状況は、2月11日(木)現在、利用登録団体数94、チラシ掲載枚数333枚、ホームページへの訪問者数8,000名、閲覧数17,300となり、利用団体は昨年3月末比44団体の増加となっています。

なお、現行利用規約では、利用期間は平成28年3月末日までとなっておりますが、1年間延長し、平成28年度中も運営活動をしてまいります。

今後とも更なる利用団体の勧誘活動、及び区民へのチラシギャラリーの周知・PR活動を進めてまいります。

充実したラインナップのチラシギャラリー



発表: 葛生代表

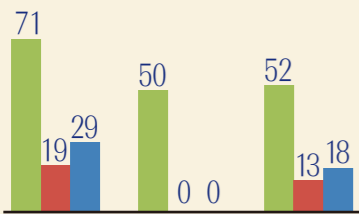


たまむすびの第4期後半活動報告

発表：松尾委員



綿あめ機づくり



■はい ■いいえ ■どちらともいえない
(グラフの数字は人数)

「たまむすび～あそび場支援プラットフォーム～」プロジェクトでは、外あそびを通して、いろいろな人や団体を結ぶ「場」や「つながり」をつくる活動をしてきました。一方シニアの地域デビューの手助けの一助として、既に活動されている団体とのコラボ活動にも取り組みました。

例えば登戸東通り商店会や多摩エコスタイルプロジェクト、多摩区でプレーパークをやっちゃおう会（略して「たまプレ」）との「なまずんバザール」への参加、多摩区食生活改善推進員との生田中学校文化体験教室への参加、おりづる会との折り紙教室開催などです。また、1月16日から中野島中央公園にて、「たまプレ」とのコラボで、「2016 遊び場支援人材育成講習会」をはじめました。これは、綿あめ機づくりや昔遊びなどを通して、シニアから子育て中の方々が子どもたちの遊び場でボランティアとして活躍するための講習会です。

一方イベントにくる親子に対して、子どもを取り巻く遊びの現状を調査しました。その結果は左記のグラフです。また3月20日には二ヶ領せせらぎ館で、水辺の楽校と多摩川エコミュージアムとのコラボで「子どもの遊びと危機管理&焼き芋交流会」を行います。さらに、すごろくや人材バンクを作成しています。

講演 映画『ゆずり葉の頃』監督 岡本みね子氏、人生を語る。



映画監督でもあり、地元住民顔負けの「多摩区愛」をお持ちの岡本みね子さんが、この日は特別に当時を振り返りながら、この地域の事や、ご主人様との思い出、映画監督としての活動秘話などたくさんの素敵なお話をされました。

そして、今後のまちづくりや地域の活性化のヒントになりうるフレーズもたくさんいただきました。その中でも、ひとつご紹介させていただきますと、まずは「きれいなまち」というキーワード。綺麗な所に人は集まる、と昔から言われておりますが、岡本さん自身のクリーンアップに対する意識も非常に高いと感じました。

一人一人が意識して、街を綺麗にしていく努力を積み重ねていけば、結果として多摩区に住み続けてくれる人も増えてくるのではないのでしょうか。そして、会場に居た一人一人が岡本さんの話を真剣に聞いていたのは、それだけ多摩区に対する愛情が深いのだと感じることができました。



大勢の参加者が「多摩区愛」に耳を傾ける

まちカツ！ポスターセッション&交流タイム



2分の中に詰まった活動団体の熱い気持ち ベストプレゼンたま賞受賞の「たまプレ」 今年も多くの人・団体が交流していました

「まちカツ！」の後半戦、和菓子とお茶での休憩を挟んで、「ポスターセッション」が始まりました。今年には26団体を3グループに分けて、各団体2分ずつの活動紹介と9分間の交流タイムをグループごとに行いました。笑いあり拍手あり、熱気あふれる楽しい時間でした。

参加者が一番印象に残った団体に投票する「ベストプレゼンたま賞」は、2年連続で「多摩区でプレーパークをやっちゃおう会」に輝きました。ぬいぐるみを使った劇のようなプレゼンテーションをトップバッターで披露され、多くの方の心を掴んでいました。

まちカツ！ポスター展示・地域活動団体紹介

「まちカツ！」の会期前後、2月9日（月）から2月15日（月）まで、毎年恒例となった多摩区役所1階アトリウムでの各団体の活動発表ポスター展示を実施しました。

多摩区内での様々な活動を紹介したこのポスター群、足を止めてゆっくり見てくださる人も多く、地域活動への関心の高さが感じられました。



出典団体一覧

- 多摩区でプレーパークをやっちゃおう会
- クローバーの会
- 多摩区民生委員児童委員協議会
- 生田地区すこやか活動推進委員会
- NPO法人 かわさき創造プロジェクト
- 「福島子どもたちとともに」川崎市民の会
- 多摩区地域教育会議
- 子育てを考える会「グレープ」
- シニア読み聞かせボランティア りぶりんと・かわさき
- 公益財団法人 かわさき市民活動センター
- 一般財団法人 かわさき市民しきん
- 長尾台コミュニティバス利用者協議会
- チーム・たま
- からふる!
- 地域通貨たま運営委員会
- NPO法人 ぐらす・かわさき
- みた・まちもりカフェ & 三田サポートわなり
- インターネット川崎ガイド
- KSソーシャルネットワーク
- 登戸研究所保存の会
- 稲田郷土史会
- NPO法人 川崎フューチャー・ネットワーク
- たま文化財ボランティアの会
- かわさきの安全でおいしい水道水を守る会
- れもんぐらす
- 多摩防火協会
- 向ヶ丘遊園の緑を守り、市民いこいの場を求める会

(順不同)

多摩区まちづくり協議会 まちづくり TOPICS

多摩区まちづくり協議会が内外で行っている
さまざまな活動の紹介や、身近なまちの情報
などを、トピックス仕立てでお届けします！

【まち協ホームページ】
<http://tamaku-machikyo.com/>

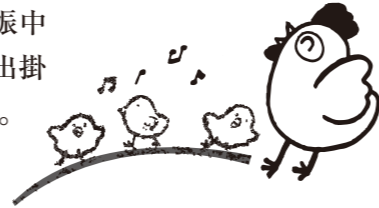
多摩区の
子育て団体！

子育てサロン

記事 古川

乳幼児と妊婦さんを対象にした『子育てサロン』は、保健福祉センターの保健師、民生委員、ボランティアが協力して開いています。地域によっては「親と子のひろば」「ママ'sサロン」として、こども文化センターや、長沢自治会館、保健福祉センターを会場にしています。

初めての子育てや妊娠中の方も、お近くの会場へ出掛けてみてはいかがでしょうか。



【問合せ先】多摩区保健福祉センター
電話：044-935-3264

第12回

多摩川桜のコンサート

記事 藤田

二ヶ領用水沿いの400本の桜が咲き競う中、二ヶ領せせらぎ館前の広場で開催されます。一部は和太鼓「里空」、篠笛「せせらぎ」、多摩高校合唱部、稲田中学チアダンス。二部は桜井純恵さんの歌で春を満喫してください。

演奏の合間には多摩川源流の温泉：小菅の湯、のめこい湯（丹波山村）の足場で体を温め、コーヒーやホットドックも楽しめます。



桜を背景に歌う桜井純恵さん

【日時】4月2日（土）12時～15時
【場所】二ヶ領せせらぎ館前広場（入場無料）

宿河原堀沿い2キロに 約400本のサクラ

記事 古川

宿河原の桜祭りは、宿河原堤桜保存会が主催、宿河原町会、二ヶ領用水宿河原堀を愛する会の共催で、毎年4月第一日曜日（今年は4月3日）に行われます。オープニングイベントが行われ、人力車二台も走ることになっています。

この二ヶ領用水沿いは、地域の人たちが除草、落ち葉や川のゴミ清掃を常日頃前から行って、サクラも素晴らしいが沿線の景観も綺麗で素晴らしいという声も聞かれます。



用水沿いの美しいサクラ

ひなた山ぼっこ祭り

記事 石郷岡

第13回「ひなた山ぼっこ祭り」は、1月17日（日）、東生田緑地・日向山の森で、親子約400名が参加して行われました（主催・日向山うるわし会）。



山の上でシュロ籠作りに熱中

竹細工やシュロ籠作り、どんぐりコロコロなどを作って遊んだり、やきいも、とん汁を食べたり。東生田小学生の青空展覧会と吹奏楽部の演奏も行われ、フィナーレは参加者全員で“ふるさと”を合唱し、新春の里山を楽しみました。

五反田川の鯉のぼり150匹

記事 藤田

五反田川の鯉のぼりも平成20年から始まり、今年で9回目になります。地元のみなさまのご尽力により、4月24日（日）から5月5日（木・祝）まで150匹が、子どもたちの夢をのせて大空を泳ぎます。

小田急線生田駅から、五反田川に沿って200m東に展開します。子どもたちと一緒に、春のひと時を楽しく過ごしませんか？



青空にたなびく鯉のぼり

生田緑地ばら苑一般公開

ばら苑
関口園長

「生田緑地ばら苑」は、5月中旬から二週間程度の一般公開が予定されています。

冬場でも約160人のボランティアの方々が、除草や施肥、剪定などの維持管理を丹精こめて行っています。

開苑中は、ボランティアガイドも行っていますので、是非綺麗な「バラ」を観に来てください。



ボランティアがバラを維持管理



5月に綺麗なバラが見られます

福島心の復興事業にランタン作り

針を使わないビーズ刺繍のような手芸を考案した一般社団法人ビーオリーブ（代表理事小倉美奈子氏、菅仙谷在住）は、各地の高齢者施設や福島の復興のために「メタリックデコレーション手芸」を通して支援活動をしています。その実績が認められ、平成27年5月に復興庁の「心の復興事業」にランタン作りが採択されました。今年は「3.11 星空を照らす展示会 in 霊山（りょうぜん）」が福島県霊山で開催され、約千個のランタンが「天」の字に並べられます。



（「ビーオリーブ」で検索）

心の復興事業で作られるランタン

まちカッ!活動団体

かわさき市民しきん

記事 井上

まちカツ!のポスターセッションに設置間もない*「一般財団法人かわさき市民しきん」の代表理事・廣岡希美さんが参加され、組織のことや、



組織の概要をプレゼンする廣岡さん

現在寄付を募集中の「事業支援しきんあとおし」の説明などをされました。市民しきんの「しきん」は「資金」「志金」「支金」を意味しており、多くの志ある川崎市民の事業に対する支援を手助けする、動態的な組織になることが期待されます。
※平成27年5月25日に設立

まちカッ!活動団体

長尾台コミュニティバス

記事 鈴木

昨年12月5日、長尾台コミュニティバス「あじさい号」運行1周年を記念した報告会とイベントが長尾会館で開催され、住民、川崎市役所、バス会社など関係者80名が参加しました。利用者協議会による1年間の運行状況の報告や運行継続のための支援のお願いがあったほか、新百合ヶ丘総合病院の医師による健康セミナー、地震で被災したネパールの話、日本舞踊、そして懇親会と盛りだくさんの内容でした。



サクラ並木を走る青いあじさい号

新「はなもすガイド」 「多摩区ガイドマップ」

情報

多摩区観光協会では、区内の遊びどころやグルメスポットが満載のガイドブック「はなもす」と、見やすい地図やオススメまち歩きスポットが掲載された「多摩区ガイドマップ」をリニューアルしました。これまでよりデザインも内容もさらに充実しています。これから温かくなる季節。外出時のお供にぜひ！

素敵なデザインで
リニューアル!



まち協及び区内のイベント情報(5月～6月)

●●●まちづくり協議会のイベント●●●

5/24(火) 平成28年度多摩区まちづくり協議会・総会
18時～ @多摩区総合庁舎11階会議室

●●●多摩区内のイベント●●●

5月中旬 生田緑地ばら苑開放 @生田緑地

6/1(水) アユ釣り解禁 @多摩川

6/15(水) 正午 たまアトリウムコンサート @市民館2階ホール

6月中旬 長尾の里あじさいまつり @妙楽寺

6月中旬 多摩区ふれあいウォーキング @多摩区内

※ イベントの内容は変更になる場合があります。